

～学校・家庭・地域で通じ合う心～

協働通心

令和2年度

第3号

発行元

草津市教育委員会

生涯学習課



8月に入り、真夏の日差しが照り付ける日が続いておりますが、皆さまお変わりございませんでしょうか？市立小中学校では、夏休みが2週間弱となり、この暑さの中での学習活動が求められております。熱中症やコロナ対策等、細心の注意を払いながらの事業実施ですが、児童生徒への安全対策を心がけるとともに、事業に関わってくださる方々にも、十分な体調管理をお願いいたします。

地域コーディネーター

情報交換会

7月15日（水）市内小学校14校区の地域コーディネーターと、新型コロナウイルス感染症防止対策を十分に取りながら情報交換会を実施いたしました。事務局からは、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現のため、学校運営協議会（コミュニティ・スクールくさつ）と地域協働合校が目標やビジョンを共有し、多くの地域住民の参画により実践していただけるよう、御協力いただきたいとの説明を行いました。また、質の高いコーディネート業務を実践するため、コーディネーター同士の交流を深め、各校で実施された事業を振り返りながら、今後コーディネーターとして実践したいことや、抱えている悩みなどを意見交換しました。生涯学習課では、地域協働合校に係るコーディネーターに向けた会議を年3回実施しており、横のつながりを深めながら、新しい情報を共有し、「子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ」の実現を目指しております。



学校・地域・家庭の連携

今年度は夏季休暇が短縮されたこともあり、夏の暑い中、下校する児童生徒の健康が心配されますが、志津南学区では、学校・まちづくり協議会・PTAが連携し、『SOSプロジェクト』が企画されました。地域の賛同して下さる施設・店舗にのぼりを置かせていただき、下校中に気分が悪くなった場合は助けを求めやすいように意思表示をしてもらっています。児童生徒が助けを求めてきた際には、児童の状況の聞き取り→学校への連絡→保護者連絡や対応の順序で対応していただくことになっているそうです。児童生徒を中心に周りの大人たちが知恵を出し合いながら協働していく姿は、きっと子どもたちの記憶に残る学習になるでしょう。

